



修行の道、ゴロゴロ石から室戸岬

第二十八番・大日寺の奥の院、爪彫薬師堂があります。お大師さまが爪で薬師像を刻まれ安置されました。ここに湧き出る霊

仰されています。奥の院、不動堂は今も篤く信

伝説では、お大師さまが留学された中国から帰国する時、日本で仏法を拡める土地を捜す為、中国の浜から仏具の独鈷を投げると、この地の龍燈松に留まっていたので、ここに寺を建てたと言われています。青龍寺の本堂は不動堂でありました。奥の院、不動堂は今も篤く信

奥の院、不動堂は青龍寺より少し離れた独鈷岳に在ります。

第三十八番・青龍寺の

土佐霊場の後半の札所寺院の中で非常に興味を惹く札所の奥の院が在りました。

四国八十八ヶ所霊場 札所と奥の院

水と共に首から上の病に霊験があると信仰されています。

第二十六番・金剛頂寺の奥の院・不動堂は金剛頂寺の下、行当岬にあります。ここは第二十四番・最御崎寺の下にある御厨人窟と共に、お大師さまが御修行され明の明星を得得、お大師さまの、お名前・空海と



第36番・青龍寺、奥の院不動堂

第二十四番・

最御崎寺の登山道の入口に奥の院・一夜建立の岩屋があります。如意輪観音がお祀りされています。かつては女人堂として女の方がここに納札を納め参拝されました。こ

れら各札所の奥の院から今の札所寺院の姿を観る事が出来ます。奥の院を参拝する事で札所寺院がより身近に親しみを持って参拝する事が出来ます。

南無大師遍照金剛

合掌

平成三十一年 盛夏
鯖大師本坊 柳本明善



盛夏の御
皆様の健康を
いまだ祈念し
合掌

暑中お見舞い申し上げます



発行所
〒775-0101
徳島県海部郡海陽町浅川
鯖大師本坊同行二人会
電話 (0884) 73-0743番
FAX (0884) 73-3405
編集人 柳本明善
印刷所 (株)教育出版センター

<http://www.sabadaishihonbou.jp/>



鯖大師本坊の
携帯サイトです。

八んろ道の言葉
出合も通して
自分と出合ふ
八んろ道

鯖大師ホームページ
URL
<http://www.sabadaishihonbou.jp>
*ホームページでは鯖大師由来、過去の鯖大師だよりの掲載、護摩祈願・ご供養等のお申し出、またお線香のご注文等お受けしております。

人生即遍路

四国八十八ヶ所霊場・別格二十霊場

心を洗い、心を磨く



歩くお遍路 満足行巡拝

第十四回、パート(3)

平成三十年二月十四日より
平成三十年二月二十三日

二月は寒波、雪が心配されるも今回は南四国、雪、寒波は無く一日だけ雨でした。

このコースは参拝する寺院が五ヶ寺と少なく歩く距離が長い。毎日、早朝出発をする事で予定通り巡拝する事が出来ました。

二月十四日、午前五時、宇和島市内のホテルを出発、国道五十六号線を歩く。一・七kmの松尾トンネルは山越えをし津島町に出て獅子文六ゆかりの大畑旅館に宿泊する。

柏坂・茶堂のおじょうさん(清家さん)



清家よし子さん
(柏坂・茶堂)

津島町大門より柏坂越えをする。峠の途中茶堂に清家よし子さんが一人で住んで居られる。八十才との事、足が不自由そうであるが良く動かれる。そして、しきりに話しかけてくれる。テレビは無いがラジオを聴くとの事。

二年後にお逢いする



第40番 観自在寺の
大師堂と梅花

まで元気で居て欲しい。

「山は遠く柏原ひろし水は流れる雲はやく」

野口有情の愛した柏坂を越え愛南町内海に下る。第四十番・観自在寺は愛南町御荘。

四国八十八ヶ所の裏関所と呼ばれる。御本尊は薬師如来、境内の梅が咲き誇る。満倉から一本松と歩く。

松尾峠を越えると修行の道場、土佐



松尾峠大師堂

松尾峠には大師堂があり、伊予と土佐の郡界の石柱が建っている。

宿毛市街を通り抜け寺山の第三十九番・延光寺を参拝する。延光寺の寺名は、寺に住んで居た赤亀が竜宮城より吊り鐘を背負って来た事に由来する。

二月十七

日、四日目、

少し疲れて

くる。延光

寺を参拝し

て平田より



第39番 延光寺本堂

西ノ谷大師堂から地藏峠を越える。江戸時代、四国遍路の中興の祖・真念上人の歩かれた道を歩き土佐清水市下ノ加江に出る。以布利から中浜と歩き、中浜ではジョン万次郎の生家を見学する。

観音菩薩の縁日に金剛福寺を参拝

足摺岬は椿の名所である。金剛福寺の御本尊は十一面観世音菩薩、参拝した十八日は観音様の縁日、特別な縁を感じる。金剛福寺はかつて補陀落渡海の寺として知られている。

補陀落渡海

とは見果て

ぬ観音浄土

に水と少し

の食料を持

ち小舟で旅

立つ儀式である。



第38番 金剛福寺境内

渚の遍路道、大岐の浜で浜灌頂

津呂、窪津、以布利と歩く、以布利では大坂海遊館の出張所でジンベエザメを観せてもらう。砂浜の遍路道、大岐の浜を歩く。砂浜に自分の願い事や、亡くなった父母の名前を書く、打ち返す波が消してくれる浜灌頂の出来る浜である。

伊豆田トンネルを抜け四万十川の河口、初崎より渡船で下田に渡る。大方町から黒潮町

佐賀と歩く。歩

くばかりの一

日。佐賀の町外

れから旧道に入

り明治三十八年

に出来たトンネ

ル、熊井隧道を

歩く。九十mの

レンガ造りのト

ンネルである。



下田の渡し船

今年もマリリン・モンローに逢えた

第三十七番・

岩本寺は五体の

御本尊と本堂の

絵天井が楽しい

寺である。絵天

井のマリリン・

モンローに逢え

るのが楽しみで

ある。



第37番 岩本寺本堂
ほほえむマリリン・モンロー

七子峠から大坂の遍路道を下り土佐一本釣りの久礼。焼坂峠の遍路道を下ると須崎市、別格霊場、第五番・大善寺は小高い山の上に建つ、仏坂の岩不動を参拝して浦ノ内湾に出る。

お大師さまも認められた海の遍路道

横浪から須崎市宮の巡航船に乗る。土佐市宇佐埋立から井ノ尻峠を越え第三十六番・青龍寺に歩く、夕方、薄暗くなった階段を登ると本堂の前で、むつき顔をした不動明王に迎えられる今回の巡拝を無事に終る事が出来ました。



第36番 青龍寺不動明王像

南無大師遍照金剛

合掌

巡拝修行日数 十日間

歩行距離 二六八・一km

修行参加者 十五名

人生即遍路

四国八十八ヶ所霊場・別格二十霊場

心を洗い、心を磨く



歩くお遍路
満足行巡拝

第十四回、パート(4)

平成三十年六月十九日より
平成三十年六月二十六日

六月の歩き遍路は雨と暑さの修行である。今回も八日間中、六日は雨であった。

井ノ尻、塚地の峠を越えて清瀧寺

第三十六番・青龍寺の宇佐より井ノ尻峠を越え宇佐大橋を渡り塚地峠から高岡の町に出て清瀧寺に登る。初日から雨である。清瀧寺はお大師さまが杖を突くと清水が湧いたという。仁淀川を渡り第三十四番・種間寺に向かう。

底の抜けた杓子で安産祈願の種間寺

六月二十日、大雨警報が発令される。第三十三番・雪隠寺には十時前に着く。土佐の覇者、長宗我部元親が再興したと伝えられる。

雪隠寺から

第三十二番・

禅師峰寺には

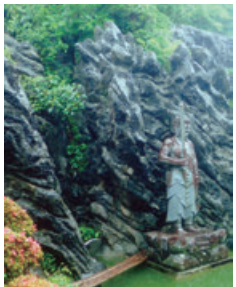
浦戸湾を高知

県営フェリー

海上安全祈願の寺、禅師峰寺

禅師峰寺は通称「峰寺」と呼ぶ。天気が良ければ境内から土佐湾や桂浜を望む事が出来るが、雨空で何も見えなかった。

第三十一番・竹林寺には石土トンネルを抜け下田川を渡る。途中、雨が激しく降る。



第32番 禅師峰寺の奇岩と不動明王

試験合格、文殊菩薩の竹林寺

いつも美しい五重の塔も雨にけぶる。

第三十番・善楽寺は一宮、

土佐神社の隣に静かに佇む。

第二十九番・国分寺には逢坂峠を越える。

南国平野の中、森に囲ま

れた国分寺の柿茸の本堂と

境内は別世界の趣がある。

物部川を渡り紫陽花を愛で大日寺

大日寺には

物部川に架かる戸板島橋を

渡る。大日寺

は正面に本

堂、左側に大

師堂と端正に並ぶ。

土佐のへんろころがし、神峯寺

夜須町手結山の宿舎を五時に出て安芸市まで自転車専用道を歩く。右に太平洋、上は大



国分寺から大日寺への道中の紫陽花



第29番 国分寺の本堂と大師堂



第31番 雨にけむる竹林寺の五重の塔

空、幸い天気が良く快適に歩く。神峯寺は約四kmの登り、車道はあるが歩く遍路には今も昔と変わらない難所である。御本尊は十一面観世音菩薩。

国道の五十五号線を歩き、加須郷のおたらい大師堂を参拝し西山越えをして羽根に出る。

行当岬の第二十六番・金剛頂寺、奥の院・不動堂を参拝して金剛頂寺に登る。金剛頂寺は通称、西寺と呼ばれる。

第二十五番・津照寺は通称、津寺、室戸市内にある。

本堂には急な階段を登る、第二十四番・最御崎寺、通称、

東寺には二十四日の午前十一時過ぎに着く、梅雨の晴れ間、汗が吹き出る。



第24番 最御崎寺の奥ノ院一夜建立の岩屋

左は山、上は大空、右は海の修行の道

五十五号線を一路、阿波の国、徳島県に向かって歩く。途中、ゴロゴロ石の浜、昔は荒波で歩くのに難儀した所である。放浪の俳人、山頭火は「おほらかにおしよせて白波ゴロ／＼浜」と詠んだ。

佐喜浜の仏海庵を参拝して東洋町より徳島県海陽町と歩く。海陽町では漁り火の森と大里松原の四国の道を歩く。

大里松原の八幡神社で毎

回、長井千登

志さんと野村



四国の道・松原を行く(海陽町大里)



第27番 神峯寺本堂

恵子さんよりお弁当のお接待をしていただき、最終の鯖大師本坊まで歩き、今回の満足行を終わる。



お接待の長井様と(大里松原)

合掌

歩行距離 一九五・八km
修行参加者 十五名

「お遍路に参加して」

大阪府

荒河清仁



今秋、関東に居を移す前に昨年ガンで亡くした妻の供養にと友に誘われるまま鯖大師本坊の満足行に参加させて頂いた。車を利用する効率的な車遍路と、時間と体力を使った「歩き遍路」の違いを体験してみたいの思いからでした。

初日から雨、合羽を着て雨の中を歩きながら先達さんに雨中での歩きの心構えを聞く。「自然にまかせ小細工はしない」と。同行の方々にも歩き・車遍路の違いや参加意図などを伺いながら歩く。同行の先達さんが面倒がらずに本心で語ってくれるのに感激する。

残念ながら四日間途中リタイヤでは「歩き修行」の境地には至れず、単独行も思慮の外でした。八十年の人生で得られなかった経験が随所にあり、体力が許せば再挑戦してみたいと思う、よい経験をさせて頂きありがとうございました。

合掌

ブログ「鯖大師本坊
歩き遍路・沙門明善」
＊満足行修行の道中日記や写真をブログで更新しています。ご覧下さい。

百八煩惱消滅の道
歩くお遍路

満足行代参巡拝

四国八十八ヶ所霊場・別格二十霊場



百八ヶ寺、百八回のご祈願
あなたに代わり、歩いて巡拝

平成三十年十一月十五日(木)～
平成三十年十一月二十三日(金)
九日間

第十四回、満足行パート5は、第二十三番・薬王寺より第一番・靈山寺、(別)三番・慈眼寺より(別)一番・大山寺まで歩いて逆巡拝致します。

お四国をお参りしたくても出来ない方
歩いてお参りしたくても出来ない方

あなたに代わり歩き、お願い事を百八ヶ寺のご宝前にてお大師さまにお願い、ご祈願させていただきます。

ご祈願料(一人一願)
二千元以上

※代参ご祈願ご希望の方は十一月十日までにお申し出下さい、代参巡拝後ご祈願札をお授け致します。

人生即遍路
満足行
歩くお遍路
パート5

第14回

自分の道を見つけよう、幸せの道を見つけよう！

発心の道場・阿波霊場を逆巡拝で歩き、
お大師様の同行二人のご誓願を身を以て修行する。

参加料
10,000円
傷害保険料、渉外費に充当



日時 平成30年11月15日(木)～
平成30年11月23日(金) 9日間
集合 平成30年11月14日(水) 午後5時
別(4)鯖大師へんろ会館
巡路 第23番・薬王寺～第1番・靈山寺
(別)3番・慈眼寺～(別)1番・大山寺
(歩行距離208km)

※奉納経料金、宿泊代、昼食代は各自、個人負担

※参加申し込み〆切日 平成30年10月20日

参加ご希望の方は巡拝資料、申込書をお送り致します。

秋の彼岸・ご供養のお勧め

お彼岸は年二回、春分の日と秋分の日を(ちゅうにち)とし前後の三日を合わせた七日間をいいます。

この日は昼と夜の長さが同じとなり、仏教では「迷い」と「さとり」の境地であり「現世」と「浄土」の接する日といわれ迷いのこの世界から、川の向こう岸の悟りの世界に渡るための教え(六波羅蜜)を守り、日々の行いを慎むのが本来の彼岸の意味です。

六波羅蜜とは

- 【布施】 他人へ施しすること
- 【忍辱】 不平不満を言わず耐え忍ぶ
- 【禪定】 心を安定させること
- 【持戒】 戒を守り、反省すること
- 【精進】 精進努力すること
- 【智慧】 真実をみる智慧を働かせる

彼岸の入りから明けまで七日間
一霊・三千元

本来は毎日心がける事ですが、日頃は忙しく実行できないまでも春と秋の年二回くらいは六波羅蜜を実践し、自然の恵みをたたえ生物を慈しみ、生かされている私たちが、ご先祖さまに対する感謝の気持ちでご供養下さい。



無明を照らす、光明
ご先祖さまと現世と結ぶ架け橋
献灯供養



平成三十一年度
壱ヶ年間「月命日」献灯(壱万円)

仏教では苦しみの根源、迷いや煩惱を「無明・むみょう」と言います。炎は不浄を燃やし魔を除き浄化して清める働きをします。光明は人が煩惱の暗闇から脱却するための道を明るく照らし、仏の智慧と救いを現します。この献灯を供えることが明かりを頼りに現世の私達のもとへ導かれ、智慧を以て悟りを得る手助けとなります。

白衣観音奉納願主ご芳名												
北海道	菊地 恵美子	愛知県	山 川 勝 美	兵庫県	森 岡 佳 世	鳥取県	影 山 晴 一	徳島県	武 井 不 二	静岡県	大 滝 和 美	甬SORA渡月荘
愛媛県	中 村 駿	中 村 文 子	兵庫県	森 岡 瑛 美	福岡県	多 田 忠	力 武 祐 子	香 港	周 明徳闔家	張 子 朗	鄒 淑 容	
香港	李 碧 坤	曾 梅 紅	洪 錫 川	陳 詠暉合家	源 秉安闔家	周 志明闔家	莫 茹 茵	林 俊 義	葉 兆 奇	陳 玉 敏	劉 映 彤	劉 宝 文
香港	甘 姉 姉	楊 偉 洲	楊 偉 康	許 桂 潔	鄭 淑 鈴	鄭 鴻 杰		平成二十九年十二月一日より平成三十年六月	三十日までに奉納祈願された方です。			(敬称略)

三十三観音霊場永代奉安

白衣観世音菩薩



為山田家先祖代々菩提

願主
徳島県
山田 太郎

私にちと苦みかた
救い尊く仏
観音さまに願いを

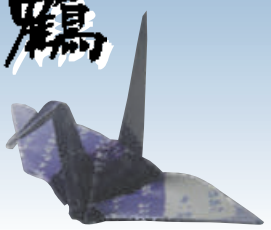
一願一体
弍萬円

般若心經
折紙

願掛け千羽鶴

千枚・千八百円

ご病気の方の快復を願い、子宝、出産、試験等の諸願成就の為、亡くなられた方の慰霊鎮魂の為、様々な願いを鶴に込めて、お折り下さい。



鯖大師・多宝塔

壹萬羽鶴

ご奉納 一羽 千円

鯖大師では皆様の願い、壹萬人の想いを募り般若心経の書かれた紙に願いを込めて折って戴いた鶴「壹萬羽鶴」のご奉納祈願を発願致しました。

皆様の願いを多宝塔の観音さまにお伝えし、飛天さんに天空へと届けて戴きます。

「お願い事、お名前を書き、一折り、一折りに想いと祈りを込めて一羽の鶴を完成させて下さい。」

多宝塔内、奉安

奉納数
二、二六二羽

平成二十五年十一月三日より平成三十年六月三十日までの累計です。

般若心経塔ご浄財
ご芳名 (一万元以上)

北海道	吉鷹美枝	岡山県	井上信子
青森県	(代表)	愛媛県	橋本美子
東京都	安田きや	香網崎俊彦	
(代表)	大松慈永	アラソライ大師	(一同)
静岡県	飯島睦子		
(代表)	大滝和美		
愛知県	伊藤富子		
兵庫県	松浦幸子		

平成二十九年十二月一日より平成三十年六月三十日までに奉納祈願された方です。
(敬称略)

般若心経 多宝塔

お写経奉納のお願い

鯖大師本坊ではご信者の皆様、ご参拝の方々のお写経を多宝塔に奉納致します。皆様のお写経奉納をお願いします。

お写経奉納の方はお送り下さい。お申し出いただいたお写経は多宝塔に奉納させていただきます。奉納お写経用紙をご希望の方はお申し出下さい、お送りします。



心経塔 (多宝塔)

お写経用紙

(三十枚つづり)

一冊 千円
荷具送料 三百円

お写経奉納料
一卷(一枚) 千円

奉納お写経 九九、〇三七巻

右記の巻数は、平成二年十二月一日より平成三十年六月三十日までの累計です。

「壹千文字」ご奉納
願主ご芳名



長崎県
宮下和子

ご奉納文字数 現在
527文字目

仏足香呂ご奉納

福岡県

和田 美穂子

百八煩惱消滅
お砂踏修行の前に、お香を焚いた仏足香呂の上で、足を浄化していただきます。



四国別格二十霊場開創五十周年
記念散華
高野山にて授与のご案内

四国別格二十霊場開創五十周年を記念して、高野山金剛峯寺にて散華を授与することとなりました。ぜひ高野山に御参拝いただき、特別記念散華を授かり、お大師様との御勝縁をお結びくださいませ。

「授与期間」

二〇一八年七月一日～
二〇一九年六月三十日

「授与所」

高野山金剛峯寺納経所

※四国別格二十霊場の納経帳を持参の方にのみ、
一枚ずつ授与いたします。(納経組合)
※散華のみ受けられる方は、一枚百円お納め
ください。





一座・五千円

日本は夏至・冬至・春分・秋分を併せ「二至二分」とし、重要な節氣を立春・立夏・立秋・立冬の「四立」とし、この二至二分と四立を併せて「八節」とします。

人の運氣は二月三日の節分で大きな節目を迎えますが、月、日、時、秒においても運氣が変化します。この月の初め「朔日」に良い月を過ごせます様にご祈念申し上げます。

合掌



お盆供養のご案内

八月 十三日 十四日 十五日

私たちの命の源^{みなもと}はご先祖さまで。このありがたい、ご先祖さまをご供養することによって今、生きている喜びを味わうことが出来るのです。
命の源^{みなもと}、ありがたいご先祖さまをご供養しましょう。

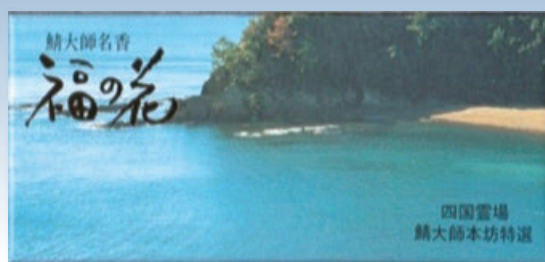
ご供養ご希望の方は至急にお申し出下さい。



進物 三、五〇〇円
徳用 一、七〇〇円
小箱 八五〇円

蓮華の香り
福の花

大切な人をお迎えする
—— お盆・お彼岸 ——
特別な日に
特別な香りを
良いお香を焚き、亡くなられた方にお供えするのは、お盆やお彼岸で帰られたご先祖さまへの最高のおもてなしです。
特別な日には、故人を敬い良質なお香を焚き大切な方をお出迎え下さい。



合掌

のし、宛て名お書きします。

※初盆のお供え・お返し、満中陰の返礼、法事の粗供養、お中元等で、多数ご利用の方は宛て名書きした、のしを同封致します。ご希望の方はご注文の際にお申し出下さい。